クラウド録画型 ウェアラブルカメラ

アムニモポータブル

アムニモポータブル AB11

取扱説明書



- このたびはアムニモポータブル AB11（以下、本製品）をお使いいただき、ありがとうございます。本体を操作しながら本書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。お読みになった後も大切に保管してください。
- 本書で使っている画面は、ソフトウェアのバージョンの違いなどにより、実際の製品と異なる場合があります。
- 本体のソフトウェアの更新により機能の追加・変更があった場合、本書の内容は予告なく変更することがあります。

2026年11月 第1版

© amnimo Inc.

目次

1 製品概要 3
本製品でできること 3
システム構成 3
本書の説明範囲と表記 3

2 お使いになる前に 4
同梱品の確認 4
別売品と別途必要なもの 4
各部の名称と役割 5
LED の表示 5
製品仕様 5

3 電源を入れる／切る 7
電源を入れる 7
電源を切る・再起動する 7
電源ボタンの操作一覧 8

4 映像を録画する 8
ホーム画面の表示 8
録画を開始する 8
録画を停止する 9
画面をロックする 9
撮影範囲をプレビューで確認する 9
録画データをクラウドに送る 10
録画と充電を同時に行わない 10
録画できる時間と映像の仕様 11

5 取り付ける 11

6 SOS ボタン 13

7 本体を充電する 13

8 設定画面とランチャー画面 14
設定画面を表示する 14
ランチャー画面を表示する 14

9 ネットワークを設定する 15
設定の流れ 15
バッテリーカバーを外す 15
SIM カードを取り付ける 15
通信設定用の QR コードを作成する 16
初期設定で無線 LAN を設定する 16
設定画面から通信設定を追加する 17
通信設定を確認・削除する 17
モバイル回線と無線 LAN の切り替え 18
動作確認済み SIM 18

10 その他の設定 19
自動電源 OFF 19
自動アップロード 19
夜間撮影モード 19
画面の明るさ 19
デバイス情報の確認とアプリの更新 20
ファームウェアの更新 20
ユーザーデータの消去 20

11 安全上のご注意 21
表示の意味 21
本体の取り扱い 21
リチウムイオンバッテリー 22
使用環境 22
無線通信 22
通信の中断と免責 23
規格への適合 23

12 付録 24
故障かな？と思ったら 24
お問い合わせ 24

© amnimo Inc.

1 製品概要

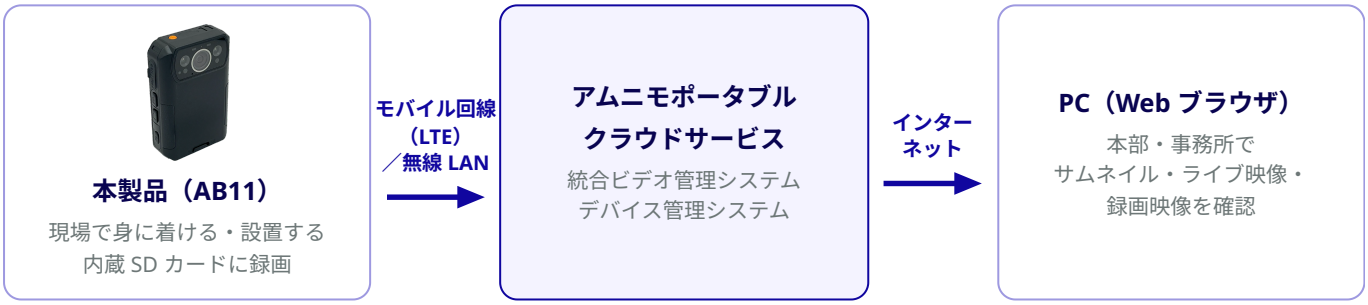
本製品でできること

本製品は、バッテリーで動くネットワークカメラです。身に着けたり、別売の三脚に取り付けたりして使えます。電源工事は不要です。撮影した映像は本体の内蔵 SD カードに録画し、モバイル回線または無線 LAN でアムニモポータブル クラウドサービスに送ります。

- モバイル回線（LTE）と無線 LAN に対応し、場所を選ばずに使えます。
- 本体の電源を入れて［録画開始］をタップすると、内蔵 SD カードへの録画が始まります。
- ネットワークにつながっていれば、遠隔地の PC から、定期的に送られるサムネイル画像とライブ映像を見られます。
- 本体に録画した映像をクラウドに送ると、PC で再生できます。
- 防塵・防水（IP67）で、重さは約 160 g（バッテリーを含み、クリップを除く）です。

⚠ 警告 本製品は日本国内専用です。日本国外では使用できません。

システム構成



- クラウドサービスは、統合ビデオ管理システム（映像の確認）とデバイス管理システムで構成されています。
- クラウドのアカウントと本製品の登録は、ご契約先（アムニモまたは販売店）が行います。お客様が登録する必要はありません。ログイン情報はご契約先からお知らせします。
- モバイル回線を使う場合は、nano SIM カードと通信事業者との契約が別途必要です（本製品に SIM カードは付属していません）。

本書の説明範囲と表記

本書で説明すること
本体の準備、電源、録画、クラウドへの送信、ネットワークの設定、本体の各種設定、安全上のご注意、困ったときの対処

本書で説明しないこと
クラウド（統合ビデオ管理システム）の操作。映像の確認やダウンロードは、統合ビデオ管理システムのマニュアルをご覧ください。
https://manual.amnimo.com/docs/evms-manual/

表記	意味
録画開始	本体の画面に表示されるボタンです。指でタップします。
電源ボタン	本体のボタンです。
補足 注意 警告	補足は知っておくと便利な情報、注意・警告は守っていただきたい事項です（11 表示の意味）。

© amnimo Inc.

2 お使いになる前に

同梱品の確認

箱を開けたら、次のものがそろっていることを確認してください。

品名	数量	用途
アムニモポータブル 本体	1	カメラ本体（バッテリーは本体に装着済み）
お使いになる前に	1	安全上のご注意と保証についての説明書
取り付け用クリップ	1	本体を衣服などに取り付けるクリップ
USB 電源アダプタ	1	充電用の電源アダプタ
USB ケーブル	1	充電用のケーブル（USB Type-A – USB Type-C）
工具	1	バッテリーカバーを外すときの補助工具

別売品と別途必要なもの

アムニモの別売品

品名	部品番号	仕様
マウントアダプタ	M7901ZM	1/4 インチねじ対応マウントアダプタ
三脚	M7901ZP	1/4 インチねじ対応ビデオ三脚
変換アダプタ	M7901ZQ	1/4 インチねじ対応変換アダプタ

⚠ 注意 別売品は本製品の保証の対象外です。

お客様にご用意いただくもの

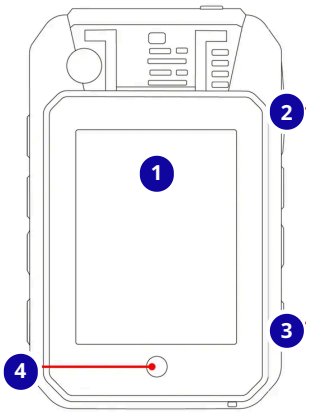
もの	必要な場合
nano SIM カードと通信契約	モバイル回線（LTE）で使う場合。動作確認済みの SIM は「9 動作確認済み SIM」をご覧ください。
無線 LAN の環境（SSID とパスワード）	無線 LAN で使う場合
PC（Web ブラウザ）	通信設定用の QR コードを作るとき、クラウドで映像を確認するとき

© amnimo Inc.

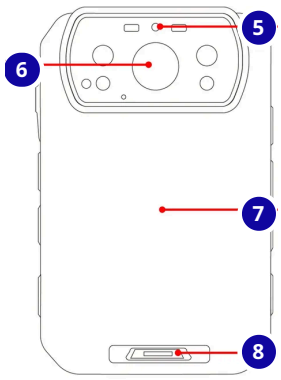
各部の名称と役割



外観（画面側）



前面（画面側）



背面（カメラ側）

番号	名称	位置	役割
1	画面	前面	2.4 インチのタッチディスプレイです。指でタップして操作します。
2	USB Type-C 端子	右側面の上	充電と通信に使います。
3	電源ボタン	右側面の下	電源を入れる・切る、再起動、スリープに使います（3 電源ボタンの操作一覧）。
4	ホームボタン	前面の下	タッチ式のボタンです。ランチャー画面を表示します（8 ランチャー画面）。
5	LED ライト	背面の上	録画中に赤く点灯します（LED の表示）。
6	メインカメラ	背面の上	映像を撮影するカメラです。撮影したい方向に向けます。
7	バッテリーカバー	背面	内側にバッテリーと SIM カードスロットがあります。
8	バッテリーカバーノッチ	背面の下	バッテリーカバーを外すときに、付属の工具を差し込む部分です（9 バッテリーカバーを外す）。
—	SOS ボタン	上面の右	録画中に押すと、クラウドにイベントを通知します（6 SOS ボタン）。図には示していません。

側面にはこのほかにもボタンがありますが、使用しません（仕様では「未使用」のスイッチです）。

LED の表示

LED の状態	意味
赤く点灯	録画中です。
赤から紫に3回変わる	録画中に SOS ボタンが押されました。

充電中かどうかは、画面の稲妻マークで確認してください（4 ホーム画面の表示）。

夜間撮影モードに切り替わると、暗い場所で撮影するための赤外線ライトが点灯します（10 夜間撮影モード）。

製品仕様

項目	仕様
製品名・型番	アムニモポータブル AB11
CPU／RAM／ROM	ARM コア 2.0 GHz（8 コア）／2 GB／16 GB

© amnimo Inc.

項目	仕様
内蔵 SD カード	32 GB
画面	2.4 インチ IPS 静電容量式タッチディスプレイ
カメラ	1/3 インチ CMOS センサー、有効画素数 最大 400 万画素 レンズ画角 水平 128°・垂直 118°・対角 77°、EIS 電子手ブレ補正
モバイル回線	LTE Cat 4（FDD：B1／B3／B8／B18／B19／B21、TDD：B41）
SIM スロット	nano SIM × 1
無線 LAN	IEEE 802.11a／b／g／n／ac、ステーションモード、内蔵アンテナ（2.4 GHz・5 GHz） 2.4 GHz：1〜13 ch（2412〜2472 MHz） 5 GHz：W52 36／38／40／42 ch（5180〜5210 MHz）、W53 52／54／56／58 ch（5260〜5290 MHz） W52・W53 は屋内での使用に限ります。
インターフェース	USB Type-C（通信・充電兼用）
スイッチ	電源ボタン（PUSH スイッチ）、その他 PUSH スイッチ（未使用）
バッテリー	リチウムイオンバッテリー（内蔵 60 mAh ＋ 取り外し可能 3050 mAh）
充電時間	約 2〜3 時間
動作時間	最大 11 時間（常時録画時。動作環境により変わります）
外形寸法	横 59 mm × 縦 92 mm × 厚さ 28 mm（クリップを除く）
質量	約 160 g（バッテリーを含み、クリップを除く）
防塵・防水	IP67
動作温度	−10〜40 ℃（充電時 0〜40 ℃）
保存温度・湿度	0〜30 ℃、相対湿度 10〜90 %

仕様は、製品の改良のため予告なく変更することがあります。

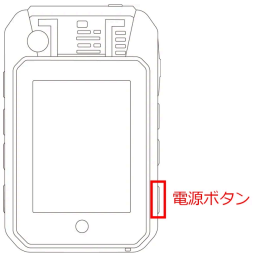
© amnimo Inc.

3 電源を入れる／切る

補足 はじめてお使いになるときは、先に「9 ネットワークを設定する」の準備（SIM カードの取り付けと QR コードの作成）を済ませておくと、初期設定まで続けて行えます。バッテリーカバーが閉まっていることを確認してから電源を入れてください。

電源を入れる

1 **右側面の 電源ボタン を、本体が振動するまで長押しします。**
振動したら指を離してください。起動画面が表示されます。



2 **起動が終わるまで待ちます。**
ホーム画面が表示されたら起動は完了です。
無線 LAN が設定されていない場合は、ホーム画面の前に「初期設定」画面が表示されます（9 初期設定で無線 LAN を設定する）。



ホーム画面

⚠ 注意
- 電源を入れただけでは録画は始まりません。録画するときは［録画開始］をタップします（4 録画を開始する）。
- 起動を待つ間、電源ボタンをもう一度押さないでください。電源メニューが表示されることがあります。

⚠ 警告 起動したときに次のようになった場合は、内蔵 SD カードを読み込めなかった（マウントに失敗した）可能性があります。「12 故障かな？と思ったら」をご覧ください。
- 「初期化エラー ○秒後に再起動します」と表示され、再起動を繰り返す
- 「SD カードがマウントできませんでした」と表示される

電源を切る・再起動する

1 **録画中の場合は、録画を停止します**（4 録画を停止する）。

2 **電源が入っている状態で、電源ボタン を長押しします。**
電源メニューが表示されます。

3 **目的に応じてタップします。**

電源を切る	本体の電源が切れます。
再起動	本体が再起動します。通信がつながらないときなどに使います。

© amnimo Inc.

電源ボタンの操作一覧

したいこと	操作	補足
電源を入れる	振動するまで長押し	電源が切れているとき
電源を切る・再起動する	長押し →［電源を切る］または［再起動］	電源が入っているとき
スリープにする・戻す	1回押す（もう一度押すと元に戻る）	スリープ中は画面が消え、バッテリーの消費を抑えます。
強制的にリセットする	10 秒以上長押し	画面の操作に反応しないときだけ使います。

補足 録画やクラウドへの送信などをしない状態が続くと、自動的に電源が切れます（初期設定は 30 分）。時間は変更できます（10 自動電源 OFF）。

4 映像を録画する

ホーム画面の表示



ホーム画面（例：充電中、送信できる録画データがあるとき）

番号	表示	意味
1	ネットワークの種類・状態	**LTE**：モバイル回線で接続中 **W-LAN**：無線 LAN で接続中 録画中は「録画中」と表示されます。
2	バッテリー残量	3段階で表示します。充電中は稲妻マークが付きます。
3	録画開始	録画を始めます。録画中は録画停止に変わります。
4	録画データ送信	録画データをクラウドに送ります。送れるデータがあるときは「アップロード可能なデータがあります」と表示されます。
5	プレビュー	カメラの映像を画面に表示し、撮影範囲を確認します。
6	歯車アイコン	設定画面を表示します（8 設定画面）。

状況によって出る表示	意味
「LIVE」とアイコンの点滅	クラウド（統合ビデオ管理システム）で、この本体のライブ映像が再生されています。
「接続が不安定」	ライブ映像の再生中に、通信状態が不安定になっています。

録画を開始する

1 **ホーム画面で 録画開始 をタップします。**



2 **確認画面で はい をタップします。**
録画が始まり、画面上部に「録画中」と表示されます。背面の LED ライトが赤く点灯します。





録画中

補足

- 録画中は、映像が本体の内蔵 SD カードに保存され続けます。容量がいっぱいになると、古い映像から順に新しい映像で上書きされます。
- ネットワークにつながっていれば、録画中は定期的にサムネイル画像がクラウドに送られ、クラウドでライブ映像を再生できます。クラウドでライブ再生した映像は、クラウドに自動的に保存されます。
- 身に着けて使う場合は、録画を開始してから取り付けてください（5 取り付ける）。

録画を停止する

1 **録画中の画面で 録画停止 をタップします。**
画面がロックされている場合は、先にロックを解除します（画面をロックする）。



2 **確認画面で はい をタップします。**
録画が止まり、ホーム画面に戻ります。録画したデータは、クラウドに送れる状態になります。



停止後

画面をロックする

画面をロックすると、身に着けている間などに画面に触れても操作されません。録画中や録画データの送信中もロックできます。

ロックする	画面の下の部分を、**左から右へ**スワイプします。
ロックを解除する	画面の下の部分を、**右から左へ**スワイプします。



左から右へスワイプ

撮影範囲をプレビューで確認する

カメラの映像を画面に表示して、撮影範囲やカメラの向きを確認できます。

© amnimo Inc.

1. **ホーム画面で** プレビュー **をタップします。**プレビュー画面が表示されます。
2. **確認が終わったら、画面の** × **をタップします。**ホーム画面に戻ります。

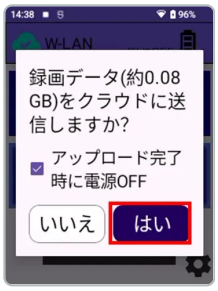
録画データをクラウドに送る

本体に録画した映像を、クラウド（統合ビデオ管理システム）に送ります。送った録画データは、送った時点から 30 日間クラウドに保存され、PC で再生できます。

1. **録画を停止し、ホーム画面で** 録画データ送信 **をタップします。**
   送れるデータがあるときは、ボタンに「アップロード可能なデータがあります」と表示されます。



2. **確認画面で** はい **をタップします。**
   送信が始まり、進み具合が表示されます。送信が終わるとホーム画面に戻ります。



補足

- **アップロード完了時に電源 OFF**：確認画面のこの項目にチェックが入っていると（初期設定は有効）、送信が終わった後に確認画面が表示され、何も操作しなければ自動的に電源が切れます。
- 送信を途中で止めるには、送信中の画面で 送信停止 →はい をタップします。もう一度送信すると、まだ送っていない分が送られます。
- 通信が不安定で送信が途中で止まった場合も、もう一度送信すると残りの分が送られます。
- クラウド側から区間を指定して、本体に録画データの送信を依頼することもできます。また、無線 LAN 接続中に充電すると自動的に送信する設定もあります（10 自動アップロード）。

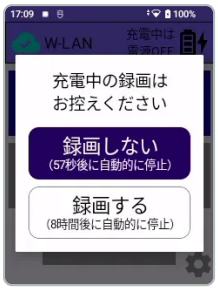
参考 送った映像の再生やダウンロードは、クラウド（統合ビデオ管理システム）で行います。ログイン：https://apps.amnimo.com/#/signin → [統合ビデオ管理システム]。詳しくは統合ビデオ管理システムのマニュアルをご覧ください。

録画と充電を同時に行わない

安全のため、録画と充電を同時に行わないでください。充電しながら長時間録画すると、バッテリーの劣化が早まるおそれがあります。録画と充電が重なると、次の画面が表示されます。

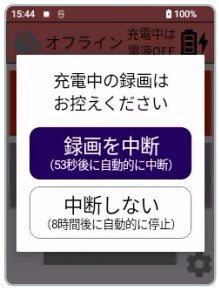
© amnimo Inc.

■ 充電中に録画を始めようとしたとき



- 録画しない場合：録画しない をタップします。録画は始まりません。
- 録画する場合：充電ケーブルを本体から抜きます。画面が閉じたら、もう一度 録画開始 をタップします。

■ 録画中に充電ケーブルをつないだとき



- 録画を止める場合：録画を中断 をタップします。
- 録画を続ける場合：充電ケーブルを本体から抜きます。画面が閉じ、録画が続きます。

⚠ 注意 充電ケーブルをつないだまま 録画する または 中断しない をタップすると、録画は 8 時間後に自動的に停止します。

録画できる時間と映像の仕様

項目	内容（本体アプリ v.3.5.1 以降）
内蔵 SD カードに保存できる長さ	約 29 時間（これを超えると古い映像から上書き）
解像度・フレームレート	1280 × 720、15 fps
コーデック	H.264
ビットレート	映像 1 Mbps、音声 64 kbps（撮影内容によって変わります）
連続録画できる時間	最大 11 時間（バッテリー満充電から常時録画した場合。動作環境により変わります）

本体アプリのバージョンは「10 デバイス情報の確認とアプリの更新」で確認できます。v.3.5.0 以前は保存できる長さや画質が異なります。

5 取り付ける

■ 身に着けて使う（取り付け用クリップ）

1. **電源を入れ、録画を開始します。**取り付けた後では画面を操作しにくいため、先に録画を始めてください（4 録画を開始する）。
2. **必要に応じて画面をロックします。**誤って操作されるのを防ぎます（4 画面をロックする）。
3. **付属の取り付け用クリップで、衣服などに取り付けます。**背面のメインカメラを撮影したい方向（前）に向けてください。
4. **背面の LED ライトが赤く点灯していることを確認します。**点灯していれば録画中です。



背面上部のメインカメラを前に向ける

⚠ 注意

- 使用環境や使用条件によっては本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。
- レンズが汚れていると映像がぼやけます。使う前にレンズの汚れを確認してください。

© amnimo Inc.

■ 置いて使う（別売の三脚など）

別売のマウントアダプタ・三脚・変換アダプタ（1/4 インチねじ対応）を使って設置できます。撮影範囲は、設置した後にプレビューで確認してください（4 撮影範囲をプレビューで確認する）。

© amnimo Inc.

6 SOS ボタン

録画中に本体上面の SOS ボタンを押すと、クラウド（統合ビデオ管理システム）にイベントが通知されます。背面の赤い LED ライトが紫色に3回変わった後、押した前後 10 秒間の映像（MP4 形式）がクラウドに送られます。

■ SOS ボタンを使うための条件

- 録画中であること
- SOS ボタン設定が ON になっていること（下の手順）

■ SOS ボタン設定を ON にする

1. **ホーム画面の歯車アイコンをタップします。**
2. 動作設定 **をタップします。**
3. SOS ボタン **をタップします。**
4. ON **をタップします。**

補足 統合ビデオ管理システムの CLOUD モードで LIVE 映像を見ている間は、SOS ボタンを押しても映像は送られず、イベントだけが通知されます。

⚠ 注意 無線通信は、すべての状況で接続できるとは限りません。緊急時の通報を本製品だけに頼らないでください。

通知されたイベントや映像の確認方法は、統合ビデオ管理システムのマニュアルをご覧ください。

7 本体を充電する

付属の USB 電源アダプタと USB ケーブルで充電します。充電時間は約 2〜3 時間です。

1. **録画を停止します。**充電中は録画しないでください（4 録画と充電を同時に行わない）。
2. **付属の USB ケーブルを、右側面の USB Type-C 端子と USB 電源アダプタにつなぎ、電源アダプタをコンセントに差し込みます。**
3. **画面のバッテリー表示に稲妻マークが付いていることを確認します。**稲妻マークは充電中を表します。
4. **充電が終わったら、ケーブルを抜きます。**

⚠ 注意

- 充電には付属の USB 電源アダプタを使ってください。
- 充電は 0〜40 ℃ の、風通しのよい場所で行ってください。高温多湿の場所や直射日光の当たる場所では充電しないでください。
- 充電中は製品のそばを離れないでください。長時間の放置充電は避けてください。
- 充電中は電源を切っておくことをおすすめします。

© amnimo Inc.

補足

- 電源を入れたまま充電している場合も、録画などをしない状態が続くと自動的に電源が切れます（10 自動電源 OFF）。
- 自動アップロードを有効にしておくと、無線 LAN 接続中に充電を始めたとき、録画データが自動的にクラウドに送られます（10 自動アップロード）。
- 長期間使わない場合は、40〜60 % 程度まで充電して保管し、ときどき充電してください。

8 設定画面とランチャー画面

設定画面を表示する

本体の設定は、ホーム画面右下の**歯車アイコン**をタップして表示する設定画面で行います。設定画面には次の項目があります。

項目	設定・確認できること
ネットワーク設定	通信設定の追加（QR コード読取）、APN 一覧・無線 LAN 一覧の確認と削除、モバイル回線と無線 LAN の切り替え（9 章）
動作設定	自動電源 OFF、自動アップロード、夜間撮影モード（10 章）
画面設定	画面の明るさ（10 章）
デバイス情報	本体の情報の確認、アプリ・ファームウェアの更新、ユーザーデータの消去（10 章）



歯車アイコン（赤枠）

ランチャー画面を表示する

前面下の**ホームボタン**（タッチ式のボタン）に触れると、ランチャー画面が表示されます。

⚠ 注意 自動アップロードは、ホーム画面を表示しているときだけ動作します。設定画面などを開いたままにしないでください。

© amnimo Inc.

9 ネットワークを設定する

設定の流れ

本製品の通信設定は、PC で作った**通信設定用の QR コード**を、本体のカメラで読み取って行います。使う回線によって、作る QR コードが異なります。

使う回線	行うこと
無線 LAN のみ	無線 LAN 用の QR コードを作成 → 本体で読み取る
モバイル回線のみ	SIM カードを取り付ける → モバイル回線（APN）用の QR コードを作成 → 本体で読み取る
両方を使う	SIM カードを取り付ける → 無線 LAN 用とモバイル回線用の QR コードをそれぞれ作成 → それぞれ本体で読み取る

SIM を取り付ける（モバイル回線を利用時） ▶ **QR コードを作成（PC）** ▶ **電源を入れる** ▶ **本体のカメラに QR コードをかざす** ▶ **接続を確認**

- はじめて電源を入れたときは、初期設定画面から無線 LAN を設定できます（9-5）。モバイル回線（APN）は、設定画面から追加します（9-6）。
- 設定が終わると、ホーム画面の左上に **W-LAN**（無線 LAN）または **LTE**（モバイル回線）と表示されます。

バッテリーカバーを外す

SIM カードスロットは、背面のバッテリーカバーとバッテリーの下にあります。**作業の前に、必ず電源を切ってください**（3 電源を切る）。

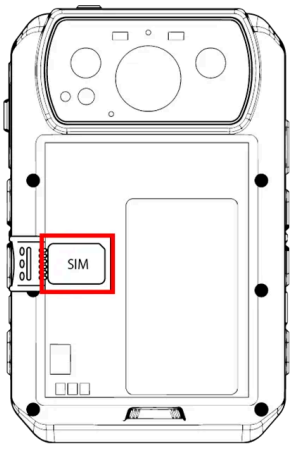
1. **本体左下の角の部分に、付属の工具を差し込みます。**
2. **工具を左右に軽くねじります。**バッテリーカバーが外れます。
3. **ゴムシートをめくり、リチウムイオンバッテリーを取り外します。**

> ⚠ **注意** バッテリーを強くぶつけたり、端子に金属などを触れさせたりしないでください。

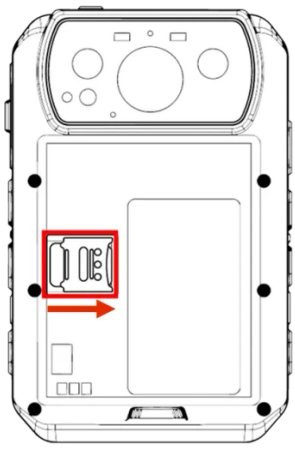
SIM カードを取り付ける



1 バッテリーを取り外す



2 スロットカバーを開け、nano SIM を切り欠きが右上になる向きでセット



3 スロットカバーを閉め、右へスライドしてロック

© amnimo Inc.

1. **バッテリーカバーとバッテリーを外します**（前の節）。
2. **SIM カードのスロットカバーを開け、nano SIM カードをセットします。**切り欠きが右上になる向きにしてください。
3. **スロットカバーを閉め、スライドしてロックします。**
4. **バッテリーとゴムシートを元に戻し、バッテリーカバーを「カチッ」と音がするまでしっかり閉めます。**

> ⚠ **警告** スロットカバーは破損しやすいため、ていねいに扱ってください。スロットカバーでけがをしないよう注意してください。

通信設定用の QR コードを作成する

PC の Web ブラウザで、次の通信設定用 QR コード生成サイトを開きます。作成した QR コードは、PC の画面に表示したまま本体のカメラにかざします。

https://apps.amnimo.com/video/amp/qrcode/index.html

■ 無線 LAN 用

1. 通信タイプで 無線 LAN を選びます。
2. SSID、優先度、パスワード、暗号化タイプを入力・選択します。
3. QR コード生成 をクリックします。

暗号化タイプは WPA3 と WPA2 から選びます。無線 LAN が WPA3 に対応している場合は、安全性の高い WPA3 をおすすめします。

■ モバイル回線（APN）用

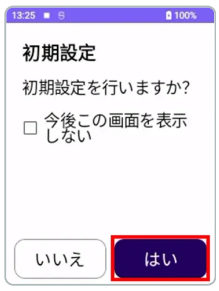
1. 通信タイプで SIM（APN設定） を選びます。
2. SIM を選択 をクリックします。
3. 使う SIM を選びます。選んだ SIM に合った QR コードが表示されます。

一覧にない SIM を使う場合は、 その他のSIMを利用する場合 をクリックし、表示名・APN・ユーザー名・パスワード・MCC・MNC を入力して QR コード生成 をクリックします。

初期設定で無線 LAN を設定する

無線 LAN が設定されていない状態で電源を入れると、初期設定画面が表示されます。

1. **「初期設定を行いますか？」で はい をタップします。**



2. **無線 LAN 設定の案内画面で スキャン をタップします。**
   スキップ をタップすると、無線 LAN を設定せずに初期設定が終わります。

© amnimo Inc.

3. **本体のカメラに、無線 LAN 用の QR コードをかざします。**
読み取りが終わると、通知音が鳴り、本体が振動します。
カメラは背面にあります。画面を見ながら、背面を QR コードに向けてください。



4. **内容を設定に追加 をタップします。**
5. **OK をタップします。**ネットワークの設定が終わります。
6. **もう一度 OK をタップします。**初期設定が終わり、ホーム画面が表示されます。

■ 初期設定をしない場合

「初期設定を行いますか？」で いいえ をタップすると、ホーム画面が表示されます。無線 LAN は後から設定画面で設定できます（9-6）。

初期設定をしないまま再起動すると、初期設定画面がもう一度表示されます。表示しないようにするには、**「今後この画面を表示しない」**にチェックを入れてから いいえ をタップします。



※「初期設定」では、現在は無線 LAN だけを設定できます（APN の設定は今後追加の予定です）。

設定画面から通信設定を追加する

モバイル回線（APN）を設定するとき、または無線 LAN を追加・変更するときは、設定画面から QR コードを読み取ります。

1. **ホーム画面の歯車アイコンをタップします。**
2. **ネットワーク設定 をタップします。**
3. **設定を追加 をタップします。**
4. **QR コード読取 をタップします。**
5. **本体のカメラに QR コードをかざします。**読み取りが終わると、通知音が鳴り、本体が振動します。
6. **内容を設定に追加 → OK の順にタップします。**設定が終わります。
7. **ホーム画面の左上に「LTE」または「W-LAN」と表示されることを確認します。**

補足

- 無線 LAN とモバイル回線を併用する場合は、それぞれの設定用 QR コードを作成し、手順 1〜6 を回線ごとに行ってください。
- SIM によっては、APN を設定した後に再起動が必要です。正しい APN を設定しても LTE と表示されない場合は、本体を再起動してください（3 電源を切る・再起動する）。

通信設定を確認・削除する

1. **ホーム画面の歯車アイコン → ネットワーク設定 の順にタップします。**

© amnimo Inc.

2. **APN 一覧** または **無線 LAN 一覧** をタップします。設定されている内容が一覧で表示されます。
3. 削除する場合は、削除したい設定の行の ⋮ → **削除** をタップします。
4. **はい** をタップし、削除されたら **OK** をタップします。

無線 LAN 一覧に表示される「AMP-WLAN-RESERVED」は、システムが使う項目です。無線 LAN としては使えません。

モバイル回線と無線 LAN の切り替え

両方の回線を設定している場合に、どちらを優先して使うかを3つのモードから選べます。

1. ホーム画面の歯車アイコン → **ネットワーク設定** → **切替設定** の順にタップします。
2. 使うモードをタップします。

モード	動作
無線 LAN 優先	無線 LAN が使えるときは無線 LAN を使います。
録画時 LTE（初期設定）	録画中は常にモバイル回線を使い、録画していないときは無線 LAN を優先します。
無線 LAN OFF	無線 LAN を使わず、常にモバイル回線を使います。

⚠ 注意 「録画時 LTE」で APN を設定していない場合や、モバイル回線が使えない場所で録画を始めると、本体はオフライン（通信できない状態）になります。無線 LAN だけで使う場合は「無線 LAN 優先」を選んでください。

動作確認済み SIM

次の SIM で動作を確認しています。QR コード生成サイトの［SIM を選択］で選べない場合は、この表の値を入力して QR コードを作成してください。

通信事業者	SIM の種類	APN	ユーザー名	パスワード	MCC	MNC
Soracom	Plan-k	soracom.io	sora	sora	440	51
Soracom	Plan-du	du.soracom.io	sora	sora	440	10
IIJ	カメラプラン 固定グローバル IP	iijmobile.biz	mobile@iij	iij	440	03
IIJ	IIJ モバイルサービス／タイプ I	iijmobile.biz	mobile@iij	iij	440	03
IIJ	IIJ モバイルサービス／タイプ K	k.iijmobile.jp	mobile@iij	iij	440	51
IIJ	IIJ モバイルサービス／タイプ D	iijmobile.jp	mobile@iij	iij	440	10
Biglobe	タイプ D（NTT ドコモ）	biglobe.jp	user	0000	440	10
HIS mobile	ドコモ回線プラン	dm.jplat.net	his@his	his	440	10
HIS mobile	ソフトバンク回線プラン	sb.mvno	his@his	his	440	20
MEEQ	MEEQ SIM インターネット接続（au）	meeq.io	meeq	meeq	440	51
MEEQ	MEEQ SIM インターネット接続（softbank）	meeq.io	meeq	meeq	440	20
MEEQ	MEEQ SIM インターネット接続（docomo）	meeq.io	meeq	meeq	440	10
MEEQ	グローバル SIM	meeq.io	meeq	meeq	234	50
DIS	M-Air（ミソラコネクト）	mmtcom.jp	mmt@mmt	mmt	440	09

© amnimo Inc.

10 その他の設定

この章の設定は、すべてホーム画面の歯車アイコンから始めます。

自動電源 OFF

録画、録画データの送信、アプリの更新のどれも行わない状態が設定した時間続くと、自動的に電源を切ります。バッテリーのむだな消費を防ぐ機能です。充電中かどうかに関係なく動作します。

歯車アイコン ▶ 動作設定 ▶ 自動電源 OFF ▶ 時間を選ぶ

選べる時間	OFF（自動で電源を切らない）／10 分／30 分（初期設定）／1 時間

自動アップロード

無線 LAN に接続している状態で充電を始めると、録画データを自動的にクラウドに送ります。初期設定は OFF です。

歯車アイコン ▶ 動作設定 ▶ 自動アップロード ▶ ON／OFF を選ぶ

■ 自動で送信が始まる条件（すべて満たすとき）

- 自動アップロードが ON になっている
- 無線 LAN に接続している
- 充電中である
- ホーム画面を表示している（設定画面やプレビュー画面では始まらない）
- 送れる録画データがある
- 録画中ではない、すでに送信中ではない

■ 動作の流れ

1. 「10秒後に録画データアップロードが開始されます。」と表示され、カウントダウンが始まります。取りやめるときはキャンセルをタップします。
2. 送信が始まり、進み具合（0〜100 %）が表示されます。止めるときは送信停止をタップします。
3. 送信が終わると、60 秒後に電源が切れます。電源を切らないときは、カウントダウン中にキャンセルします。

カウントダウン中や送信中に無線 LAN が切れたり充電ケーブルを抜いたりすると、自動アップロードは取りやめ（中断）になります。カウントダウンの画面が表示されている間は、ホーム画面を操作できません。

夜間撮影モード

周囲が暗くなると、自動的に夜間撮影モードに切り替わります。夜間撮影モードでは赤外線ライトが点灯し、録画とプレビューの映像は白黒になります。明るくなると通常の撮影に戻ります。切り替えが頻繁に起きないよう、一度切り替わると、ある程度明るさ（暗さ）が変わるまでモードは変わりません。

歯車アイコン ▶ 動作設定 ▶ 夜間撮影モード ▶ AUTO／OFF を選ぶ

- 夜間撮影モードを使うには、AUTO にしておきます。手動で夜間撮影モードにすることはできません。
- 切り替わるのは、録画中またはプレビュー表示中だけです。

画面の明るさ

屋外で見やすくしたり、暗い場所でのまぶしさを抑えたりするために、画面の明るさを調整できます。

歯車アイコン ▶ 画面設定 ▶ 画面の明るさ ▶ スライダーを左右に動かす

スライダーを動かすと、すぐに明るさが変わります。

© amnimo Inc.

デバイス情報の確認とアプリの更新

歯車アイコン ▶ デバイス情報

「デバイス情報」画面が表示され、本体の情報を確認できます。

■ アプリを更新する

1. 「デバイス情報」画面で アプリアップデート をタップします。
2. はい をタップします。アプリのダウンロードが始まります。
3. ダウンロードが終わったら はい をタップします。アップデートが始まります。
4. 終わったら OK をタップします。

更新がない場合は、手順 1 の後にお知らせが表示されます。OK をタップしてください。

ファームウェアの更新

新しいファームウェアが公開されているときは、ネットワーク経由で更新できます。

⚠ 注意 更新の前に、次を確認してください。

- ネットワークに接続していること。データ量が大きい（約 800 MB）ため、無線 LAN での更新をおすすめします。
- 更新中に電源が切れないよう、充電ケーブルをつなぐか、バッテリー残量が 70 % 以上あること。

1. 「デバイス情報」画面で ファームウェアアップデート をタップします。
2. はい をタップします。ファームウェアのダウンロードが始まります。
3. ダウンロードが終わったら はい をタップします。更新が始まります。
4. 更新が終わると、本体が自動的に再起動します。

⚠ 警告 更新中は、本体の電源を切らないでください。ファームウェアが壊れるおそれがあります。

ユーザーデータの消去

お客様が追加したデータや設定をまとめて消去し、本体を出荷時の状態に戻します。本体を譲渡・廃棄するときなどに使います。

消去されるもの	録画データ、APN 設定、無線 LAN 設定
初期値に戻る設定	自動電源 OFF、ネットワークの切替設定

⚠ 注意

- 消去した録画データは元に戻せません。必要な映像は、先にクラウドに送ってください。
- APN 設定は、本体に入っている SIM の分だけが消去されます。SIM カードを入れたまま実行してください。

1. 「デバイス情報」画面を上にスワイプし、 データ消去 をタップします。
2. ユーザーデータ消去 をタップします。
3. 確認画面で 消去 をタップし、もう一度 消去 をタップします。消去が終わると、本体が再起動します。

© amnimo Inc.

11 安全上のご注意

ご使用の前に、この章と同梱の「お使いになる前に」をよくお読みください。ここに示す注意事項は、本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を防ぐためのものです。指示に反する取り扱いをされた場合、当社は安全性を保証できません。本製品を無断で改造しないでください。

表示の意味

⚠ 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定される内容です。
⚠ 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（※2）を負うことが想定されるか、または物的損害（※3）の発生が想定される内容です。
禁止	してはいけないことです。
強制	必ず行っていただきたいことです。

※1 重傷：失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するもの
※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電など
※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害

本体の取り扱い

⚠ 警告 **禁止**

- 分解・改造しないでください。火災・感電・けがの原因になります。
- ピンや針金などの金属物などの異物を入れないでください。異常動作して、けが・感電・故障の原因になります。
- 子どもだけで使わせたり、幼児の手の届くところで使ったりしないでください。感電・けが・やけどの原因になります。
- 清掃にベンジンやシンナーなどの有機溶剤や洗剤を使わないでください。変色・変形・破損の原因になります。
- 電源には付属の USB 電源アダプタを使い、定格電圧以外のものを使わないでください。故障・火災・感電などの原因になります。
- 電源が入っているときに、本体を積み重ねて使わないでください。底面（銘板が貼られている面）が高温になり、やけどや、他の機器に影響を及ぼすおそれがあります。
- 火や高温の熱源に近づけないでください。長時間日光に当てないでください。

強制

- 異常・故障のときは、ただちに電源ケーブルを抜いて使用を中止してください。そのまま使うと、火災・感電・けがのおそれがあります。

© amnimo Inc.

リチウムイオンバッテリー

本製品はリチウムイオンバッテリーを使っています。次の注意事項を必ず守ってください。

取り扱い	• 火の中に入れたり、加熱・焼却したりしないでください。発火・破裂の原因になります。 • 分解・改造・はんだ付けをしないでください。 • 強い衝撃を与えたり、落としたり、圧迫したりしないでください。破損や内部短絡のおそれがあります。 • 充電中または使用中に、異常な発熱・変形・液漏れ・異臭に気づいたら、ただちに使用を中止してください。 • 端子に金属片や液体などの異物を触れさせないでください。ショートや火災の原因になります。 • 当社が提供する安全認証済みのバッテリーを使ってください。
充電	• 指定の充電器・充電方法で充電してください。 • 過充電・過放電を避けてください。長時間の放置充電は避けてください。 • 風通しのよい場所で充電し、高温多湿・直射日光の下では充電しないでください。 • 充電中は製品のそばを離れないでください。 • 充電中は録画しないでください。
保管	• 直射日光の当たる場所や、車内など高温になる場所で保管・使用しないでください。 • 0〜30 ℃、湿度 60 % 以下の場所で保管してください。 • 長期間使わない場合は、40〜60 % 程度充電した状態で保管してください。
廃棄	• リチウムイオンバッテリーはリサイクル可能な資源です。一般ごみとして捨てられません。 • 自治体の指示またはメーカーの回収方法に従って廃棄してください（再資源化または専門業者への委託が必要です）。
緊急時	• 液漏れした液が皮膚や目に触れたときは、すぐに大量の水で洗い、医師の診察を受けてください。 • 火災が起きたときは、二酸化炭素（CO_2）消火器または粉末消火器を使ってください。

使用環境

動作温度	−10〜40 ℃（充電時 0〜40 ℃）
保存温度	0〜30 ℃
相対湿度	10〜90 %

- 本製品はウェアラブル端末です。使用環境や使用条件によっては本体が高温になることがあるため、取り扱いに注意してください。
- 長期間保存する場合は、バッテリーが完全に放電しないよう、定期的に充電してください。

無線通信

- 本製品は日本国内でのみ使用できます。日本の電波法・電気通信事業法の技術基準以外の規格には対応していません。
- 本製品を分解・改造したり、機器ラベルをはがしたりすると、法律で罰せられることがあります。
- 航空機内や病院内など、無線機器の使用が禁止された区域では設置・使用しないでください。
- 強い磁界・静電気・電波障害が発生する場所や、金属製の壁（金属補強材を埋め込んだコンクリートの壁を含む）の部屋、キャビネットの中などでは、電波が反射して通信できないことがあります。
- **5 GHz 帯**：W52・W53 の屋外での使用は電波法で禁じられています。J52 の機器とは通信できません。W53 では、通信を始める前に 1 分間レーダー波を検出するため、その間は通信できません。通信中にレーダー波を検出すると自動的にチャネルを変えるため、通信が中断することがあります。

© amnimo Inc.

- **2.4 GHz 帯**：この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使われる移動体識別用の構内無線局（免許が必要）、特定小電力無線局（免許不要）、アマチュア無線局（免許が必要）などが運用されています。無線 LAN を使う前に、近くでこれらの無線局が運用されていないことを確認してください。本製品は移動体識別装置の帯域を回避できます。

2.4DS4/OF4	使用周波数帯域 2.4 GHz、変調方式 DS-SS 方式／OFDM 方式、想定干渉距離 40 m 以下、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

■ 無線 LAN のセキュリティについて

無線 LAN は電波でやり取りするため、セキュリティの設定をしないと、通信内容を第三者に盗み見られたり、ネットワークに不正に侵入されたりするおそれがあります。無線 LAN のアクセスポイントで暗号化（WPA2／WPA3）を設定し、お客様の判断と責任においてセキュリティの設定を行ってお使いください。セキュリティ対策をしなかった場合や、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生した場合、当社はこれによって生じた損害の責任を負いかねます。

通信の中断と免責

- 本製品は無線で通信するため、どのような状況でも接続できることは保証できません。緊急の通信を本製品だけに頼ったり、通信の中断が死亡・人身傷害・物的損害・データの損失などにつながるおそれのある状況で使ったりしないでください。
- 当社は、別途保証条項に定める場合を除き、本製品に関していかなる保証も行いません。本製品の使用によってお客様または第三者が被った損害、および当社が予測できない本製品の欠陥などによってお客様または第三者が被った損害、ならびにいかなる間接的損害についても、当社は責任を負いかねます。

規格への適合

本製品は、次の認証を取得しています。

法令	認証の種類	認証番号
電気通信事業法	技術基準適合認定	ADF240022211
電波法	技術基準適合証明（工事設計認証）	211-240623

© amnimo Inc.

12 付録

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、次の表を確認してください。対処しても直らない場合は、お問い合わせ先にご連絡ください。

症状	考えられる原因	対処
電源が入らない	バッテリー切れ	充電してから、電源ボタンを振動するまで長押ししてください。
	システムの不具合	お問い合わせ先にご連絡ください。
しばらくすると電源が切れる	自動電源 OFF	録画などをしない状態が続くと自動的に電源が切れます（初期設定は 30 分）。設定を確認してください（10 自動電源 OFF）。
画面が操作に反応しない	手袋などで操作している	指で直接操作してください。静電容量方式の画面は、電気を通さないものでのタッチを認識しません。
	手や画面がぬれている	手や画面の水分・汗をふき取り、乾いた状態で操作してください。
	画面がロックされている	画面の下を右から左へスワイプしてロックを解除してください。直らないときは、電源ボタンを 10 秒以上長押しして強制的にリセットしてください。
起動時に画面が白い・黒いまま	ディスプレイの異常	再起動してください。直らないときはお問い合わせ先にご連絡ください。
「初期化エラー」「SD カードがマウントできませんでした」と表示される	内蔵 SD カードの接触不良	再起動してください。直らないときはお問い合わせ先にご連絡ください。
毎回、初期設定画面が表示される	無線 LAN が設定されていない	無線 LAN を設定するか、「今後この画面を表示しない」にチェックを入れて［いいえ］をタップしてください（9 初期設定）。
通信できない（LTE・W-LAN と表示されない）	無線 LAN に接続できない	無線 LAN の設定（SSID・パスワード）と、アクセスポイントの電波が届くことを確認してください。
	モバイル回線に接続できない	SIM カードが入っているか、APN 設定が正しいか、データ通信量が残っているかを確認してください。APN を設定した後は再起動してください。
	切替設定が「録画時 LTE」	無線 LAN だけで使う場合は「無線 LAN 優先」にしてください（9 切り替え）。
映像がぼやける	レンズの汚れ	レンズをきれいにしてください。
録画データの送信が途中で止まった	通信が不安定	もう一度 録画データ送信 をタップすると、残りの分が送られます。
クラウドでライブ映像を再生できない（「HLS プレイリストを読み込めませんでした」と表示される）	通信が不安定	本体の通信状態（SIM・通信量・無線 LAN）を確認し、本体を再起動してください。
「ファームウェアの整合性検証に失敗しました」と表示される	ダウンロードしたファイルの破損	ネットワーク環境を確認し、もう一度ダウンロードしてください。

お問い合わせ

お問い合わせ先	ご契約先／アムニモ support@amnimo.com
お問い合わせの際に	製品名（AB11）、症状、発生した日時、本書で試した対処をお知らせください。
関連マニュアル（Web）	スタートアップガイド：https://manual.amnimo.com/docs/amnimo-portable-startup-guide/ 統合ビデオ管理システム：https://manual.amnimo.com/docs/evms-manual/

© amnimo Inc.